

YEC(若者エンパワーメント委員会)  
活動内容

## 若者へのアプローチ その1

# もうひとつの放課後探しプロジェクト

# もうひとつの放課後探しプロジェクト

## 【目的】

中高生が部活や勉強、塾などの選択肢の中から選ぶのではなく、やりたい！という思いから自分たちでもひとつの放課後をつくり、見つける過程を通して自分たちが社会の構成員であり、社会を背負っていくという意識になること

## 【対象】

中高生世代の若者



## もうひとつの放課後探しプロジェクト

もともとYECは若者の社会参画について講演会を行っていた



若者自身にもアプローチしなければいけない！



何をしよう？



北欧では豊かな放課後がある



## もうひとつの放課後探しプロジェクト

【わかものキャンパス】



# もうひとつの放課後探しプロジェクト

【わかものキャンペーン】





# もうひとつの放課後探しプロジェクト

【スクリーニング】



## もうひとつの放課後探しプロジェクト

【企画実現】





# もうひとつの放課後探しプロジェクト

## 【カゴメンの存在】

かごめんとは？

もうひとつの放課後探しプロジェクトサポートメンバー

→→→ カゴメン



2011/04/04 15:16

## もうひとつの放課後探しプロジェクト

「大学生がサポート」がポイント！

みなさんは中高生にとって、

ちょっと大人

**お兄さん・お姉さんの存在**

頼れる

相談しやすい

なのです！

### ☆「ナナメの関係」

…世代が違ふ、異質な人たちが共存して社会をつくっていくことが大切。

## カゴメンのルール

意見を言える、聞いてもらえる「心地よさ」

人の意見を自分の中で咀嚼する。

「私は、〇〇と思う」、「僕は、●●と考える」

主語をつけて意見を言う。



# ファシリテーション

- ・企業や学校、地域のコミュニティなどの組織の会議などでグループ活動が円滑に行われるように、中立的な立場から支援を行うこと。またはそのための手法や技術のこと。その役割を担う人はファシリテータ(facilitator)と呼ばれる。

**受け入れる。ではなく、認める。**



全ての意見を鵜呑みにしない。

お互いに意見を出し、お互いを尊重する。

フラットな立場で  
あるということ。





# もうひとつの放課後探しプロジェクト

## 第1期もうひとつの放課後探しプロジェクト

### ■ 中高生の声(「YECわかもの白書」より抜粋)

- ・「大学生のサポートとか色々なアドバイスをもらっていくうちに自然にやる気と自信がわいてきた。」
- ・「高校生の時期は親や友達に相談して解決するわけでもないこととかたくさんあるじゃん。そーゆーのってやっぱ年上の人とかだとすごい安心して話せるし、年上ならではのアドバイスもしてもらえるからすごい良かった！そーゆー場ってなかなかないから悩んでるけど話せない人とか大学生に絡むと良い！」

## もうひとつの放課後探しプロジェクト

### ■カゴメンの声

- ・「中高生が楽しそうに企画をつくっているし、楽しそうに大学生や大人と絡んでいた。」
- ・「飾らず、そのままの自分で接することが大切なんだ！」
- ・「自分もがんばりたい」と元気をもらえた。
- ・「中高生と大学生が互いに支え合い、高め合っていた」

# もうひとつの放課後探しプロジェクト

## 【生まれた企画】

~第1期~

- ・キラキラフェスティバル
- ・We are ONE~ぶっちやけTALK~
- ・ランナウェイなう！

~第3期~

- ・スクールキャンプ~CAMP high school~
- ・嵐ではじけて、嵐で燃えろ

~第2期~

- ・ランチトーク
- ・オレたちノバトロワ
- ・彩祭(カラフェス)
- ・One for all, All for one

~第4期(進行中)~

- ・GOLDEN AGE
- ・弱修学旅行
- ・Englishバーベキュー
- ・夢美術館
- ・ニコニコ音楽祭



**もうひとつの放課後探しプロジェクト**

**動画を見ましょう。**

## もうひとつの放課後探しプロジェクト

### 【参加者の声】

- ・最初から出来ないって言うことは簡単だけど、やってみようと思う気持ちが大切なんだと言うことを学びました。
- ・「放課後プロジェクト」に参加してからは「社会」というものを真剣に考えたり、みたりするようになったり、社会人になってから学ぶことを13歳で学ぶことができ・・・と、たくさんのことを学ぶことができました。

(引用: YECわかもの白書完全版)

## なぜ余暇活動の支援なのか？

ボランティア活動や、政治参加などを促しても、興味を持ってない現状。

大事なのは「主体性」を育てていくこと。

- 自分で決める楽しさ
- そこに伴う責任

## もうひとつの放課後探しプロジェクト

### 【今後の展望】

- ・すべての若者が、かかわれる機会に。
- ・意思決定の場を広げていく  
—地域の中



## 若者へのアプローチ その2

YEC課外授業

~みんなのワクワクが詰まったまちをつくらう~

## 【企画が生まれた背景】

- ・視察で行ったスウェーデンのある市民の言葉

赤ちゃんも若者もみんな同じ市民。だから若者の意見を聞くのはあたりまえ。



- 若者の声を実際に聞けたらいいね
- ・もうひとつの放課後プロジェクトは半年かかって長い
- もう少し気軽に関われるものをつくろう

## 課外授業

県会議員を通じた、県政への意見提出

- 県会議員・県庁の協力を得て、高校生が参加
- 2012年 - 7月～運営会議
  - その後第一回意見交換会（高校生同士）
- 2013年 - 3月第二回意見交換会（県会議員、県庁職員、高校生）
  - 8月企画書を作成し、県会議員に提出